

千葉市とコープみらいは 「SDGs 推進に向けた包括連携協定」を 11月28日に締結しました

生活協同組合コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、代表理事理事長:熊崎 伸、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)と、千葉市は、SDGsの推進に向けた包括的な連携に関する協定を、2023年11月28日(火)に締結いたしました。



左から、千葉市 千葉市長 神谷 俊一様 生活協同組合コープみらい代表理事理事長 熊崎 伸

このたび締結した「SDGs 推進に向けた包括連携協定」は、双方の資源、ノウハウを有効に活用した協働を推進することにより、地域におけるSDGsの推進に資することを目的としています。

千葉市とは、1995年の災害協定締結を皮切りに、子育てリラックス館の受託、コープみらいフェスタきやっせ物産展への出展、高齢者等見守り協定の締結など、食育、環境、子育て・高齢者支援、災害時対応といった様々な分野で多くの協働の取り組みを進めてきました。

今回の締結を契機に、まずは、「千葉市健康づくり応援店」への登録などを進め、市民の皆さまの健康づくりに貢献していくとともに、千葉市のスマートフォン講座とタイアップし、デジタルを活用した買い物支援につながる学びの場を設け、高齢化や近隣に商業施設がない等の買物不便地域に対応した課題解決の取り組みについて、市と連携して進めていく計画です。また、2024年2月18日(日)に開催するコープみらいフェスタきやっせ物産展では、市の特設コーナーを設け、市の取り組みやコープみらいとの協働の取り組みについて広く発信する予定です。

協定締結式の概要

協定締結日：2023年11月28日(火)

会場：千葉市役所(千葉市中央区千葉港1番1号)

協定書名：千葉市と生活協同組合コープみらいとのSDGs推進に向けた包括的な連携に関する協定書

主な協定項目：(1)環境保全・ごみの削減に関すること

(2)地域の安全・安心に関すること

(3)防災・災害対策に関すること

(4)健康増進・食育に関すること

(5)高齢者支援に関すること

(6)子育て支援及び子ども・若者の育成に関すること

(7)地産地消に関すること

(8)地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること

(9)その他、SDGsの推進に向けた取組に関すること

新たな協働の取り組み：

- ・各店舗における減塩などの食生活改善を促すPOP等の掲示
- ・減塩レシピなど健康づくりに関する情報提供
- ・各店舗の千葉市地産地消推進店への登録
- ・食のブランド「千」認定品のPR
- ・高齢者等を対象とした買い物支援対策

登壇者のコメント等は以下の通りです。

千葉市 千葉市長 神谷 俊一様

このたびはコープみらいのご協力をいただき、包括連携協定を締結することとなったことを嬉しく思っております。千葉市とコープみらいは市民生活を幅広く支えている面で親和性があり、これまでも個別の分野でともに活動を進めてきました。人生100年時代に向け、すべての人が元気に活躍できる社会をつくることが重要となることから、今回の協定締結を契機に、買い物シーンでの減塩情報の発信や、高齢者や買い物に不便を感じている方向けのスマートフォンを使用した宅配サービスの利用方法に関する講習会など、市民に行動変容を促す取り組みを進め、コープみらいのネットワークを活かしていただきながら、地域の一層の活性化や魅力と活力のあるまちづくりへつなげてまいります。

生活協同組合コープみらい 代表理事 熊崎 伸

千葉市とはこれまでも、食育、環境、子育て・高齢者支援、災害時対応などの分野で地域の課題解決に向けて連携・協力してきました。このたびの包括的な連携協定締結を契機に、地域の食を支えるインフラとして食の安全・安心を推進し、市民の皆さまの健康づくりにいっそう貢献するとともに、高齢者等への買い物支援につながる施策を通じ、急速に進む高齢化社会に対応した課題解決にも取り組んでまいります。くらしを取り巻く環境が大きく変化する中、千葉市とのパートナーシップをより強固に、連携した取り組みをさらに発展させ、持続可能な社会の実現をともに目指します。

生活協同組合コープみらい 概要 2023年コープみらいは創立10周年を迎えました

【住所】千葉県さいたま市南区根岸1-5-5

【代表理事 熊崎 伸(くまざき しん)】

【組合員数】374万人 ※2023年11月20日現在

【総事業高】4,280億円 ※2022年度

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<https://mirai.coopnet.or.jp/>